

環境活動データ集

環境会計

DNPでは、環境経営管理および社会とのコミュニケーションツールとして活用するために、環境省「環境会計ガイドライン2005年版」に従って、大日本印刷および財務会計上の連結対象会社のうち、国内の製造会社と物流会社の製造拠点、研究開発の拠点、事務所ビル、営業所を対象とした環境関連費用を取りまとめて公表しています。

分類	投資額 (単位：百万円)		費用額 (単位：百万円)		主な取り組みの内容	環境報告書 掲載ページ
	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度		
(1) 事業エリア内コスト						
① 公害防止コスト	466	630	691	857	VOC 回収・除去装置、排水処理施設	18、27-29
② 地球環境保全コスト	2,090	2,401	293	541	省エネ設備、省エネ型照明へ切替	18、19-23
③ 資源循環コスト	113	137	1,648	4,946	焼却炉整備、分別リサイクル、ゼロエミッション (RPF・セメント原料化)、資源循環利用	18、24、25
(事業エリア内コスト計)	2,668	3,167	2,632	6,344		
(2) 上・下流コスト	0	0	140	151	容器包装リサイクル費用負担、リサイクルシステム開発	30、31
(3) 管理活動コスト	0	19	2,458	2,246	ISO14001 審査登録費用、環境教育費用、環境報告書作成費用	10-13、15-16、31
(4) 研究開発コスト	0	0	5,316	5,739	環境に配慮した製品および生産方式の研究開発	17、30
(5) 社会活動コスト	0	0	15	16	工場敷地外の環境保全、生物多様性保全、環境保全団体活動支援	32、33
(6) 環境損傷対応コスト	0	0	0	6	モニタリング	14
合 計	2,668	3,186	10,561	14,502		

● 全コストに占める環境保全コストの割合

分類	連結会計 (単位：百万円)	環境保全 (単位：百万円)	環境比率
当該期間 (2024年度) の 投資額	76,600	3,186	4.16%
当該期間 (2024年度) の 研究開発費	37,561	5,654	15.05%

環境活動データ集

環境会計

(1) 事業エリア内コストに対応する効果

環境保全効果の分類	効果を表す指標の分類	指標の値			注釈	環境報告書 掲載ページ
		2023年度	2024年度	前年比較		

① 事業活動に投入する資源に関する環境保全効果

総エネルギーの投入	エネルギー消費量(TJ)	13,540	14,370	830		17-23
	売上高原単位(TJ/億円)	0.95	0.99	0.04	売上高1億円当たりのエネルギー消費量	17-23
水の投入	水の使用量(千m ³)	7,300	9,060	1,760		17-19、26
	売上高原単位(千m ³ /億円)	0.51	0.62	0.11	売上高1億円当たりの水の使用量	17-19、26
主要原材料の投入	投入量(千トン)	989	955	-34		18、24
	不要物総排出量／投入量(%)	25.0	22.9	-2.1	主要原材料に対する不要物の割合	18、24

② 事業活動から排出する環境負荷及び不要物に関する環境保全効果

大気への排出	SOx排出量(トン)★	5.5	9	3.5		18、28
	NOx排出量(トン)★	440	464	24		18、28
	環境負荷物質排出量(トン)	13,351	12,878	-473	VOCの排出量	17-19、28
水域への排出	COD排出量(トン)★	19.3	16.0	-3.3		18、27
	環境負荷物質排出量(PRTR対象物質)(トン)	0.0	0.2	0.0	報告対象となる物質なし	29
不要物の排出	不要物総排出量(千トン)	247	219	-28		18、19、24
	廃棄物排出量(千トン)	46.6	47.0	0.4		18、24
	売上高原単位(トン/億円)	17.4	15.0	-2.4	売上高1億円当たりの不要物総排出量	19
	リサイクル率(%)★	98.8	98.5	-0.3	不要物総排出量に対する主要不要物のリサイクル量の割合 個別では、紙99.8%、プラ95.6%、金属99.1%	25
	環境負荷物質移動量(PRTR対象物質)(トン)★	1,754	1,534	-220	報告対象となる28物質の合計	29
温室効果ガスの排出	温室効果ガス排出量(千トン-CO ₂ e)	846	866	20		17-23
	売上高原単位(トン-CO ₂ e/億円)	59	59	0	売上高1億円当たりのCO ₂ 排出量	17-23

★ 国内限定

環境活動データ集

環境会計

(2) 事業活動から産出される財・サービスに関する環境保全効果

環境保全効果の分類	効果を表す指標の分類	指標の値			注釈	環境報告書 掲載ページ
		2023年度	2024年度	前年比較		
事業活動から産出される財・サービスに関する環境保全効果						
製品出荷後のCO2排出	CO2排出量(千トン-CO ₂ e)	1,094	1,158	64	Scope3のカテゴリ4の一部、9、10、11および12の合計値	20、22
	CO2排出量／国内販売額(千トン-CO ₂ e/億円)	0.077	0.079	0.000	国内販売額1億円当たりのCO2排出量	20、22

(3) その他の環境保全効果

効果を表す指標の分類	2023年度	2024年度	前年比較	注釈	環境報告書 掲載ページ
輸送環境負荷に関する効果					
製品等輸送時のエネルギー使用量(キロリットル)★	14,850	14,830	- 20	荷主としての輸送時の原油換算のエネルギー使用量	23
輸送時のエネルギー使用量／売上高(キロリットル/億円)	1.04	1.02	- 0.13	売上高1億円当たりの排出量	23

環境保全対策に伴う経済効果	金額(単位:百万円)			注釈	環境報告書 掲載ページ
	2023年度	2024年度	前年比較		

(1) 売上増加 ① 研究開発コストに対応する経済効果

環境配慮製品・サービス売上高	170,590	218,919	48,330		17、30
----------------	---------	---------	--------	--	-------

(2) 収益増加 ② 資源循環コストに対応する経済効果

不要物のリサイクルによる事業収入★	1,883	1,900	18	廃プラ・廃油などの売却額	24
-------------------	-------	-------	----	--------------	----

★ 国内限定